

## 令和4年度 コミュニティ市民会議の取組状況

コミュニティ組織名	市民会議委員(人数)	No.	開催状況	課題・テーマ	内容・結果	今年度の市民会議の総括	会議運営上の課題	次年度以降の取組予定
一中地区地域のふれあいを広める会【H23.12.1設置】	地区住民各部会長 青色防犯パトロール隊 青少年相談員 少年指導員 児童委員 子育て・高齢者サロン代表者 (16人)	★	継続事業 (毎月第1, 第3月曜日開催)	高齢者サロン「楽々亭」の運営	①高齢者サロン「楽々亭」の運営 ・毎月第1及び第3月曜日の午前中に実施。 ・毎回のメニューは「健康体操」、「レクリエーション」、季節の歌合唱」、「カレーライスの持ち帰り」 ・食事提供数522食, 1回平均31人の利用			
		★	継続事業 (毎週土曜日実施)	青少年非行防止, 防犯ネットワークの構築	②青少年非行防止, 防犯ネットワークの構築 ・毎週土曜日の夕方, コミセンの公用車を用い, 防犯パトロール隊(隊員155人が市内において巡回パトロールを実施。 2月11日現在で, 48回, 96人の参加			
二中学区地域の輪をつくる会【H24.4.21設置】	コミ組織理事 コミ役員 各部会長 各自治会長など (27人)	1	令和4年10月20日	コミュニティスクールと地域学校協働活動について	コミュニティスクール・地域学校協働活動について, 市の説明を聞いたが, 学校としての考え方を聞いてから進めていくことを確認した。その後役員手分けして各学校の学校評議員会の傍聴を行い引き続き指導課との協議を行っている。	二中学区地域の輪をつくる会役員と学区内自治会長による, コミュニティスクールと地域学校協働活動について, 教育委員会指導課の柳生先生・山崎先生と青少年課職員との勉強会を行った。 地域としてどのように関わるか今後二中学区内小中学校との話し合いを持ちながら進めていく。また, 地域内の子供を支える会等の関係団体の連携についても進めていきたい。		
前渡を明るく住みよくする会【H24.4.21設置】	自治会長 各部会長 事務局長 (17人)	1	令和4年11月24日	「2025年問題介護のリアル」の演題で講演会を開催	少子高齢化社会に向けた取り組みとして地域包括ケアシステムの構築が重要ともいわれていることから, フロイデ総合在宅サポートセンターの大越介護福祉士と北部地域包括支援センターの天津作業療法士から「2025年問題介護のリアル」と題して講演していただいた。お二人は介護福祉士, 作業療法士の知識や経験から, シニアの方や, 認知症の方, その家族の方々が, 今よりちょっと安心して過ごせる地域になるよう, 相談や居場所作り, 情報発信している。講演では, 世界一の高齢化率で超高齢社会が進む日本, 2025年問題として国民の4人に1人が75歳以上。社会保障費が増大し現役世代の負担が重くなる等の課題。この先の2040年問題として, 1人の高齢者を1.5人で支える時代となり「社会保障費1.6倍」「団塊ジュニア世代が高齢者」「医師・介護士が不足」「インフラ老朽化」などの課題が上げられているとのこと。またフレイル予防には身体活動(運動), 文化活動, ボランティア・地域活動等, 様々な活動を複数実施することでフレイルへのリスクが低減されるとの紹介があり, 「人とのつながり」がとて重要と感じました。高齢化を理由として自治会を脱会される方がいらしゃいますが, フレイル予防として自治会加入継続をお勧めしたい。	これまで, 自治会は加入率の向上を目標に活動してきたが, 依然として加入率は低下している。加入率低下の一因として高齢化を理由とした自治会からの脱会が増えてきていることから, その対策として, 少子高齢化社会に向けた課題について学ぶ「講演会」を企画し, 実施した。		年度当初に検討テーマを設定し, それを遂行する。

## 令和4年度 コミュニティ市民会議の取組状況

コミュニティ組織名	市民会議委員(人数)	No.	開催状況	課題・テーマ	内容・結果	今年度の市民会議の総括	会議運営上の課題	次年度以降の取組予定
佐野の和を推進する会 【H25.4.15設置】	自治会長 コミ役員 部会推薦 (18人)	1	令和4年6月9日	資源リサイクルの内容と方法について	<ul style="list-style-type: none"> <li>市廃棄物対策課職員(3名)から資料に基づき説明を受けた。</li> <li>リターナブルビン/ワンウェイビンの違い、ペットボトル回収時の注意点、スプレー缶/電池の扱い方、古紙/雑誌の区別など個々の資源物回収について理解を深めた。</li> <li>いくつかの資源物について、市で統一した張り紙を作成配布してくれないかの要望があった。</li> </ul>	<p>①令和3年度に引き続き本年度もゴミ処理の問題が各自治会の課題となっているので、資源のリサイクルを含め協議している。</p> <p>②上記のほか、各自治会等から要望のある協議事項に基づき、その都度共通的な課題について選択協議して行くこととしている。</p>	委員からの課題提案については、自治会関心の温度差があり、佐野地区全体もしくはひたちなか市として取り組む課題かどうか判断が難しい。	各委員から新しい課題を提案してもらい、あるべき姿を考えて、その課題解決に向けて話し合いをしていく。また、「認知症」についても引き続き話し合いをしていく。
		2	令和5年2月14日～15日	まちづくり市民会議運営委員及び自治会長視察研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>栃木県の防災館を訪問し、防災映画上映と館内展示品見学および大風/煙迷路/地震/大雨体験を通して、いざという時の備えを学ぶ。</li> <li>まちづくり市民会議運営委員の交流研修を行った。</li> </ul>			
		3	令和5年3月14日	ひたちなか市における認知症共生の取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民会議で認知症を考える、と題し、北部おとしより相談センターの榊卓巳センター長と大津匡史作業療法士を招いて講義をいただいた。認知症を短縮しての復習と最近の認知症の方を取り巻く動きについて写真入りのpptにてとてもわかりやすく説明していただき有意義であった。講義の最後に自治会や高齢者クラブなど、どこでも良いので呼んでほしい、考える機会がほしい、との要請を受けた。佐野の和を推進する会として継続的な取り組みの計画を考える。</li> </ul>			
大島コミセン地区 地域づくりの会 【H25.4.20設置】	コミ役員 自治連大島支部理事 委員会、実践部会 保健推進委員 高齢者クラブ 民生委員 青少年相談員 小中学校PTA役員 婦人学級 (20人)  ※今回の「テーマ」・「取り組み」は、社会福祉協議会の支えあい事業(地域福祉推進体制整備事業)との関連が深いことから、地域福祉課と社会福祉協議会の職員の方も加わっている	1	令和4年6月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度までの活動内容の確認</li> <li>社会福祉協議会の支えあい事業の取り組みについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委嘱状交付、顔合わせ(自己紹介)</li> <li>これまで(平成25年～)の市民会議の活動経過について確認する。助け合いの仕組みづくりとしての「ゴミ出し」支援について共通理解を図り、今後の活動に生かすことを確認する。</li> <li>高齢者対策問題の関連で、社会福祉協議会の支えあい事業(地域福祉推進体制整備事業)の取り組みについて社協職員より説明を受ける。</li> </ul>	<p>令和元年度から2年間、自治会関連問題と高齢者対策問題という2つの課題(テーマ)について協議・検討しながら取り組んできた。最終的には、自治会の協力のもとアンケートによる実態調査を行い、本地区の課題を確認することができた。そこで、昨年度より、その調査結果を踏まえた実践的な活動に繋げるため、市民会議で取り組みそうなテーマとして「ゴミ出し」支援を設定し、助け合いのしくみづくりに取り組んできており、今年度はその具体的内容について協議を行っているところである。</p>	前年度は実践的な活動を育てるための実態調査(「自治会関連問題」, 「高齢者対策問題」)を行っており、その分析結果などを踏まえて、今回のテーマの設定にあたり、ゴミ出し支援のしくみづくりを進めることになった。委員からは、どうしても自治会の協力を得ないと進められないので、モデル地区に限定して行い、成功例を紹介するような活動が望ましいとの意見が多い。自治会の地域性や年齢構成、会員数など諸々のことを考えると、それだけ全体で行うことの難しさを感じている。市民会議で扱う際の理想と現実の溝をどう埋めるか、やるたびに突きつけられる問題である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに、重点的に、取り組む課題・テーマの選定</li> <li>先進地域視察</li> <li>継続事業の見直し</li> </ul>
		2	令和4年8月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>市廃棄物対策課よりゴミの出し方等の説明</li> <li>助け合いの仕組みづくり「ゴミ出し」支援について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市廃棄物対策課よりゴミの出し方等の説明</li> <li>可燃ゴミの出し方について及びゴミ集積所の設置について説明を受け質疑応答を行った。</li> <li>＜グループ討議＞</li> <li>助け合いの仕組みづくり「ゴミ出し」支援の具体的内容(項目ごと)について</li> </ul>			
		3	令和4年10月31日	先進地視察研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>先進地視察研修として千葉県柏市社会福祉協議会へ向かい先進事例等を伺いながら質疑応答を行い「ゴミ出し」支援についての共通理解を深めた。</li> <li>改めて「ゴミ出し」支援の課題の難しさを実感した。</li> </ul>			
		4	令和4年12月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>助け合いの仕組みづくり「ゴミ出し」支援について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミ出し支援のあり方について次の視点で考える。</li> <li>＜グループ討議＞</li> <li>先進地視察研修結果を受け、助け合いの仕組みづくり「ゴミ出し」支援の具体的内容(項目ごと)についての最終案をとりまとめた。</li> </ul>			
		5	令和5年2月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>助け合いの仕組みづくり「ゴミ出し」支援について統括</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>＜グループ討議＞</li> <li>助け合いの仕組みづくり「ゴミ出し」支援の素案を取りまとめ来年度実施に向けて最終調整を行う予定。</li> </ul>			

## 令和4年度 コミュニティ市民会議の取組状況

コミュニティ組織名	市民会議委員(人数)	No.	開催状況	課題・テーマ	内容・結果	今年度の市民会議の総括	会議運営上の課題	次年度以降の取組予定
田彦中学区地域づくりの会【H24.4.14設置】	地域づくりの会会長 副会長 自治会長 自治会副会長 事務局 (13人)	1	令和4年5月30日	地域・学校協働活動への取組み	テーマ:地域・学校との連携・協働活動 参加者:小中学校のPTA役員・学校長他・地域代表 成果物:3者による協議会実施(それぞれの立場の違いの確認)	①社会環境の変化や長いコロナ禍、本来あるべき対面等によるコミュニケーションがメール等による情報伝達的な形に変化している。こうした状況では、多様意見の聴衆や各組織との連携等が十分に発揮できなかった。地域活動に若年層の参加を目的に小・中学校保護者・学校との連携を目的に議論を行ったが、お互いの立場を理解するにとどまった。 ②7/14に誘拐情報(教育委員会)を入手し、学校と連携し、休日の見守りを自治会防犯パトロール隊と田彦中学区防犯パトロール隊(青パト)による巡回実施。その後、教育委員会と協議し、学校の情報を地域が共有化することを進めた。	①PTA役員が単年度で変わるため継続性が保たれない ②小学校と中学校との調整が必要(第三者(教育委員会)によるコーディネーター) ③参加者の制度(ex.コミュニティスクール等)の理解不足 ④3者による共通するテーマの設定(利害調整)	テーマ:地域コミュニティのあり方(仮称) (5回程度の開催予定)
		2	令和4年7月2日					
		3	令和4年7月25日					
		4	令和4年8月25日					
		5	令和4年11月2日					
		6	令和4年12月26日					
湊中学区地域を住みよくなる会【H23.9.30設置】	コミ役員 スポーツ推進員 民生委員 PTA役員 高齢者クラブ役員 部会員 (15人)	1	令和4年10月6日	・「地域福祉推進体制整備事業」について ・湊中学区市民会議のテーマについて	・市及び社会福祉協議会から地域福祉及び地域福祉推進体制整備事業について、他の地域の活動事例を交えた説明を受け、湊中学区で実施できる事業について話し合った。当コミ組織内には19自治会があり数も多く地区の範囲も広いので、各自治会において本会議で継続協議としていた「高齢者対策」を事業として取り上げることとした。 また、それぞれの自治会が取り組んでいる高齢者対策を、情報共有のためアンケート調査を行うこととした。 ・今後の市民会議のテーマについて協議した。	・地域福祉推進体制整備事業について、各自治会において本会議で継続協議としていた「高齢者対策」を事業として取り上げることとした。今後どのような形で実施していきけるか話し合い事業を展開していく。 ・地域のモラル向上の取り組みとして、令和3年度に選定したあいさつ運動の標語の優秀作品を、学校・公共施設等への掲示、広報紙への掲載によりあいさつ運動の啓蒙に努めた。	コミ組織の運営に係わっている方たちが高齢化しており、いかに若い方たちに参加してもらいコミ組織の体制を強化できるかが課題である。	・継続協議としているテーマも含めて会議で取り上げたテーマについて、実現・解決へ向けた具体策を実施していく。 ・地域福祉推進体制整備事業として、各自治会における高齢者対策を事業展開していく。
		2	令和5年2月28日	・「地域福祉推進体制整備事業」について ・湊中学区市民会議のテーマについて	・各自治会における高齢者対策についてのアンケート結果をもとに、事業としてどのような形で実施できるか、また、実施するにあたってどのような課題があるかを具体的に話し合っていく。 ・今後の市民会議のテーマについて話し合い、継続協議としているテーマも含めて実現・解決への具体策を協議していく。			
美乃浜学区明るい地域づくりの会【H24.6.1設置】	コミ役員 コミ各部長 各自治会長 青少年相談員 女性学級連絡員 学校PTA役員 観光協会 (22人)	1	令和4年7月12日	令和4年度市民会議の取組について	今年度取組課題の検討。 ①県外研修の実施(10月21日～22日、場所長野県小布施) ②11月中旬わかめ養殖作業 ③11月24日スケッチ大会(1月に展示会を開催) ④商工会議所主催「サイクリング大会」協賛	平磯の地域活性化のため、どうすれば人を集客できるのか、またその為には何をすべきかを継続検討中。 ①10月に小布施に研修を実施、役場を訪問し、どのようにして訪問者が年間100万人の町になったのかを担当者と質疑応答を重ねた。 ②わかめ養殖作業については、漁業者の手伝いが得られず、やむなく中止となる。	①スケッチ展・写真展の第2回目の継続。5年度はさらなる集客を目指し、地元をアピールしていく。 ②平磯海岸通りの花壇ボランティア活動、有志を集めて除草、植栽していく。	
		2	令和4年10月3日	平磯・磯崎地区の高齢者の買物、ゴミ捨て等について情報交換	社協を交えて平磯、磯崎の自治会長と事務局の9名で第1回目の高齢者の買物、ゴミ捨てについて情報交換をする。自治会によって温度差があるのがわかり、今後も継続的に話し合いをしていく。			
		3	令和5年2月15日	①観光振興課を招いての講話 ②4年度の実績と5年度の取組の課題	第一部:テーマ「ひたちなかの観光推進の現状と計画について」観光振興課長の講話 第二部:令和4年度の実績と5年度の取組について ・スケッチ展・写真展を2月1日～6日まで市民交流センター「ひたちなか・ま」で開催、来場者は292名と好評を博した。 ・参加作品は51点。この展示会を通じて平磯地区の知名度アップにつながったと感じた、と同時に次回も2回目を実施し、さらなる地域の魅力度アップにつなげていきたい。			

## 令和4年度 コミュニティ市民会議の取組状況

コミュニティ組織名	市民会議委員(人数)	No.	開催状況	課題・テーマ	内容・結果	今年度の市民会議の総括	会議運営上の課題	次年度以降の取組予定
阿中学区明るく住みよい地域をつくる会 【H24.4.21設置】	コミ役員 自治会員 地区ごとの代表者 (各地区2人) 小学校PTA役員 (16人)	1	令和4年4月20日	「旧阿字ヶ浦中学校の跡地利用」について	阿字ヶ浦地域交流センター(仮)の管理・運営体制等について、市からの回答を踏まえ、見直しの方向で検討・協議を行う。	長期間に渡り「旧阿字ヶ浦中学校」跡地活用について取り組んできましたが、令和4年10月より阿字ヶ浦ふれあい交流館として運営が始まった。	検討中(3月中旬に市民会議の予定。課題として次年度の事業取り組みを話し合う。)	検討中(3月中旬に市民会議の予定。次年度の予定については、その時の課題にする。)
		2	令和4年5月11日	「旧阿字ヶ浦中学校の跡地利用」について	市と合同の検討会 ・第1回阿字ヶ浦地域交流センター(仮)会館に向けた交流会・市の体制 ・施設及び運営体制について ・今後のスケジュールについて			
		3	令和4年6月14日	「旧阿字ヶ浦中学校の跡地利用」について	市との合同の検討会 ・第2回阿字ヶ浦地域交流センター(仮)会館に向けた交流会(教育委員会と市民活動課との検討会) ・事前意見の回答 ・名称阿字ヶ浦ふれあい交流館(案) ・校舎内図面確認 ・今後のタイムスケジュールの確認			
		4	令和4年6月26日	「旧阿字ヶ浦中学校の跡地利用」について	阿字ヶ浦ふれあい交流館(案)施設運営に向けて ・今後の活動内容確認			